

日本平山頂シンボル施設及び展望回廊 「日本平夢テラス」 11月3日オープン!

日本平山頂シンボル施設と展望回廊が11月3日、文化の日にオープンします。この施設の愛称を募集した結果、「日本平夢テラス」と決定しました。採用された日本平夢テラスは「初夢を見るような縁起の良い場所」「夢ある未来に展望の良い風景が続くように」との思いを込めた愛称となりました。

シンボル施設の1階は展示スペース。グラフィックパネルによる歴史絵巻やタッチパネルによる歴史・文化作品の紹介、またプロジェクションマッピングにより日本平の成り立ちが紹介されます。2階はラウンジ、そして3階は展望フロアと84インチ大型モニターによる富士山映像を見ることが出来ます。

展望回廊は、静岡産のヒノキをふんだんに使い、1周約200m、360度の眺望で、今まで見ることのできなかった駿河区や葵区を見ることができるようになりました。

ぜひ、この施設から四季の眺望を楽しみ、日本平の成り立ちなどにも触れて下さい。

開館時間：日～金曜日 午前9時～午後5時
土曜日 午前9時～午後9時
休館日：毎月第2火曜日及び年末(12/26～12/31)
入館料：無料



展望回廊より葵区側を望む



新静岡セノバけやき口前

JR清水駅江尻口近く

さくらももこさんに 静岡市民栄誉賞を授与

8月に53歳で亡くなった漫画家さくらももこさんはふるさとを愛し、市民に笑顔と元気を与え、静岡市の魅力発信に大きく寄与されました。この功績を讃え、市民栄誉賞が授与されます。

さくらさんは旧清水市出身、短大在学中に漫画家デビューし、中でも「ちびまる子ちゃん」は、自身の少女時代をモデルに「まる子」をコミカルに描き、テレビでアニメ化され国内外の人気を呼び大ヒットしました。

また、平成19年から市のPR活動のため三保松原や富士山などのイラストを提供され、自身が考案した「静岡市はいいねえ」というキャッチコピーや市PRソングの「まるちゃんの静岡音頭」では作詞を担当されました。

そして、亡くなる前には、まるちゃんを描いたオリジナル・マンホールの蓋を寄贈するなど、市の魅力発信に大きく貢献されました。こうしたさくらさんの功績を市の歴史に深く刻み、後世に伝えていくものです。授与の日程は、現在調整中です。

「さくらももこさんからのメッセージ」

マンホールの蓋に色んなデザインがある事を知り、静岡にまる子のマンホールもあれば可愛いなと思い、静岡市さんにご相談させて頂きました。今回、「お茶、富士山、駿河湾」をコンセプトに、2つのマンホールが出来ました。静岡市で長く使用して頂けると嬉しいです。そして、静岡市民の皆さんには、いつもあたたかいご声援をいただき、本当にありがとうございます！まる子デザインのマンホールの蓋も、みなさんに喜んで頂けると嬉しいです。

平成30年8月7日

さくらももこ

佐藤せい子 (志政会所属)

H30年10月発行
発行/静岡市議会志政会
編集/志政会 広報部
〒422-8004
静岡市駿河区国吉田 4-25-19
TEL: 054-267-2000
URL: satoseiko.com



議会だより

9月議会



平成30年9月議会が9月14日～10月15日まで会期32日間で開催されました。9月28日の総括質問で登壇し、①第3次総合計画と施政方針について ②第3次総合計画及び総合戦略の評価報告について 質問を行いました。以下は質問の抜粋です。

(第3次総合計画とは、街の将来像を示すとともに、市政を総合的、計画的に運営するため、各分野における計画や事業の方針を明らかにするものです。実施計画は前期計画(H27～30年度)と後期計画(H31～34年度)からなり、今年度は前期計画最終年度です。)

この4年間の市長の施政方針を紐解きながら、静岡市の重点政策についてお伺いしていきます。

第3次総合計画スタートの年である平成27年の施政方針では、「世界に輝く静岡の実現」「2025年の総人口70万人維持」を大目標とし、「創造する力」による『都市の発展』と「つながる力」による『暮らしの充実』という2つの政策群を設定し、その中からそれぞれ「歴史」「文化」「中枢」「健康」「防災」「共生」の6つのキーワードからなる重点プロジェクト(18政策)を立案し、優先的に取り組む重要政策と明示しました。

平成28年の施政方針では、突然5大構想という言葉が登場してきました。これは、中長期的な視野に立ち、3次総の期間中に必ず成就させるべき政策を5大構想と定めたとのことです。5大構想とは、「歴史文化拠点づくり」「海洋文化拠点づくり」「教育文化拠点づくり」「健康長寿のまちづくり」「まちは劇場」です。重点プロジェクトで使われている表現との重複もあり、とても紛らわしくわかりにくいものであると感じました。

Q この5大構想の選定経緯と重点プロジェクトの関係をわかりやすく説明して下さい。

A 市長：平成26年度における3次総策定にあたって、「鳥の眼」から見た「創造する力による都市の発展」と、「虫の眼」から見た「つながる力による暮らしの充実」を掲げ、この2つの柱のもとに重点プロジェクトを定めました。一方、「世界に輝く静岡」のためには、世界を意識した都市ビジョンを市民の皆様に分かりやすく示すとともに、政策を絞り込むことで私のカラーを鮮明に打ち出す必要性を感じておりました。そこで、H28年の施政方針において、中長期的な視野に立ち、最優先で挑戦していく取組「5大構想」に進化させ、「鳥の眼」をもって「世界に存在感を示す3つの都心づくり」と、「虫の眼」をもって「生活の質を高める2つの仕組みづくり」を推進していくこととしました。

平成30年の施政方針では、3次総の前期の最終年であり成果を示さなくてはならないと述べ、3次総と親和性のあるSDGs(エスディーゼーズ)を5大構想に組み込むと述べています。これは、私には唐突感が否めませんでした。

Q SDGsを政策と連携させていく、静岡市の指針としていくということをご議論されたのでしょうか。



A 市長：私は常々、「世界に輝く静岡」の実現に向けて、本市を誰もが認める世界水準の都市への引き上げ、それを発信していくための更なる手法を模索しておりました。そうした中、国連で世界共通のものさしとして「SDGs」を採択したことを捉え、3次総と親和性の高いSDGsを「3次総を加速させるツール」として5大構想に組み込むことを表明し、積極的な取組みを開始しました。

日本政府からは、SDGsの達成に向けすぐれた取組みを進める29の「SDGs未来都市」に選ばれ、国連からはSDGsの普及に向け各都市をリードする「SDGsハブ都市」にアジアで初めて選ばれるなど、大きな評価と期待を得ているところとあります。

「静岡型行政評価制度」は、政策・施策・事務事業の3階層評価を行い、計画の見直しや改善を図り、3次総を進化させていく目的で行われています。今年、初めての政策評価が行われましたが、その中で東静岡副都心の取り組み「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」の整備についてお伺いします。

評価報告書の中で、「未利用地の暫定的な活用法として先進的であり、時代のトレンドを先取りした意欲的な取り組みである」と高い評価を受けていますが、一方で、「市が保有している土地の活用の方向性が定まっていないなど、政策の目的達成に向けた動きが停滞しているように思われる」との指摘もされています。

また、北口市有地の第2段階整備については、平成27年の答弁の中で、3次総前期の期間内に具体的な施設整備の方針を決定すると述べています。今まさにその時期になったのではないかと思います。

Q 東静岡北口市有地について、どのように取り組んでいく方針でしょうか。

A 東静岡駅北口市有地の第2段階整備については、本年度中には一定の方向性を見出したいとしてきたところですが、スケートボード競技は我々の当初の予想をはるかに超える盛り上がりを見せており、また、現在の社会情勢の中にあって、新たな利活用方をあらゆる可能性から絞り込むことは、現時点では困難な状況にあります。むしろ判断を急がず、様々な要素を慎重に見極めた上で、しかるべき時期に結論を導き出すことが望ましいと考えております。



アート&スポーツ/ヒロバ

「静岡型行政評価制度」は、政策・施策・事務事業の3階層すべてで、外部又は内部の専門委員会により2段階の評価を行います。今年度初めて行った政策評価は、全国的に事例が少なく、外部委員が評価を行った事例も多くないと伺っています。多岐にわたる事業を包含する政策、概念的な政策の評価は大変難しく、手探りであったとのことですが、初めて実施し浮き彫りになった課題や改善点等もあったことと思います。

Q 評価報告を受け、今後、市としてどのように施策へ反映し、取り組んでいくのですか。

A 外部評価委員会からの指摘事項は以下の2点です。1点目は、時勢に応じた政策体系の見直しが必要であるという事、2点目は政策の成果を捉えるための適切な指標の設定が必要であるという事です。1点目の政策体系に関しては、今回の意見を参考に、4次総策定時に反映することとしています。また、2点目の成果指標に関しては、3次総10分野すべての政策・施策について、指標の的確性に関する検証を行い、3次総後期実施計画に反映できるよう、追加・修正作業を進めていきます。



今回は、何事も経緯・経過説明が必要なのではないかとの思いで質問させていただきました。市長には、様々な思い、展望がおありになるのは承知していますが、5大構想や3次総とSDGsのつながり等、まだ消化不良のところ新しいことが展開されています。なぜその事が必要で、取り入れていかなければならないのか、説明が足りないのではないかと思います。決定事項、あるいは結果だけを、マスコミ報道で知るの、自分自身の情報収集能力の低さもさることながら、議会軽視とまでは言いませんが、がっかりしてしまいます。様々な事柄を説明する時期、提示するタイミングが大事なのではないかと考えています。

市長は、蒔いた種が芽生えてきてる手ごたえを感じるとおっしゃっています。5大構想は3次総の期間内に必ず成就させる政策で、その期限は2022年。SDGsの期限は2030年。「SDGs未来都市」「SDGsハブ都市」となり、静岡市が苦手としている国内はもとより、世界へのメッセンジャーとして情報発信の役割を担う事となりました。SDGsの誰一人取り残さない社会の実現は、かなりのハードルの高さです。SDGsをどのように身近に可視化して5大構想実現のエンジンにしていけるか期待しています。

何事も先立つものがなければ実現できませんが、政策の優先順位は市長の思い一つ、リードで決まります。政策が組織を動かすのです。まさに組織が政策に従うのです。



9月議会



9月補正予算 53億6,563万円(一般会計 26億4,918万円) 小中学校へのエアコン設置や ブロック塀対策などに

■ 小中学校へのエアコン設置のための設計費 … 2,879万円

静岡市は、休校中の小学校を除く市内全125の小中学校普通教室にエアコンを設置する。現在、市内の普通教室へのエアコン設置は14教室、設置率は0.8%と全国平均を大幅に下回っている。猛暑による児童生徒の負担を考慮し、19~20年度で小学校に、20~21年度で中学校にそれぞれ整備していく方針。事業費は全体で55億円を見込んでおり、今回の9月補正では小学校分の設計費を計上した。



【小学校】
86校 普通教室 1,286教室
2018年度設計(9月補正)
2019~2020年度整備(予定)

【中学校】
39校 普通教室 538教室
2019年度設計
2020~2021年度整備(予定)

■ ブロック塀対策事業費 … 3億1,601万円(一般会計1億6,917万円・水道事業会計1億4,684万円)



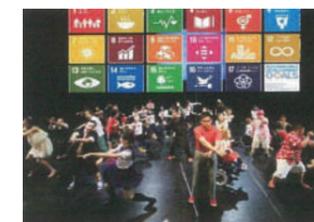
大阪北部地震におけるブロック塀等倒壊事故を受け、小中学校を含めたすべての市有施設における危険・不適なブロック塀の撤去を行う。市有施設で危険・不適とされたブロック塀は100施設175ヶ所あり、当初予算で対応した分を除く80施設155ヶ所分を9月補正で賄う。また、民間のブロック塀の撤去費用に対する助成を行う。

■ SDGs推進事業 … 4,285万円

① SDGs推進ウィーク(成人式から東京ガールズコレクション開催日まで 1/3~1/12)
SDGsの認知度が特に低い女性や若者を主な対象として、ジェンダー平等や環境・資源問題など、地域規模の課題解決に取り組む必要性を普及啓発するイベント等を実施する。

② 東京ガールズコレクション TGC SHIZUOKA2019 for SDGs

【期日】平成31年1月12日(土) 【場所】ツインメッセ静岡



SDGsをテーマとしたダンス



「SDGs」ってなんだろう？

SDGsとは、国連が提唱した「地球上の誰ひとりとして取り残さない」の合言葉のもとに、全ての国や地域が持続的に発展していくために決めた世界共通の17の目標のことです。(下図参照)
静岡市では、SDGsという世界共通のものさしで設定された大きな目標を3次総に組み込んで、「世界に輝く静岡」の実現に向けた推進力として活用するとしています。上記の東京ガールズコレクションでは、静岡市からSDGsを発信していきます。

